

大正10年4月 (1921)
愛知第四尋常小学校

大正10年8月 (1921)
名古屋市猿子尋常小学校

昭和5年4月 (1930)
名古屋市廣見尋常小学校

昭和16年4月 (1941)
名古屋市廣見国民学校

生おい立たつ園そののたのしさよ
いろどりおりにたでし子の
かおかる教ひえのつゆあけて
詔ひ勅かりの光あ仰おぎつ

※昭和十二年(歌詞四、すへて削除)

掲かげかて示しす道みちしるべ
猿えん子の校旗がほ高たからかに
協きょう同どう一いつ致し進しんむべ
規き律りつ禮らい儀ぎを重おもんじて
いいざや励たげまん國くにの為ため
努こ力りきの精せい神しんをやみなく
日ひに新あらたしき生いのち命いのちあり
中なか川のすい水すいたえずして

※昭和十二年(國のため)

花はな咲さきみのる大おほ名古屋なごや
進しん取しゆの気き象しやうたゆみなく
いいざや盡つきさん君きみのため
一いち、三さん百年ひゃくねんの文ぶん化かの地ち

歌 石田元季 (いしだもとすえ)
曲 小林禮 (こばやし れい)

猿子小学校々歌

えんじしやうがっこうのうた

大正15年10月 (1926) 校歌制定



Four musical staves showing the melody and lyrics for the first four lines of the song. The lyrics are: さ ん ー び ゃ く ね ん の ぶ ん か の ち は な さ き み の る だ い な ご や し ん し ゅ の き ー し ゃ ー う た ゆ ー み な く い ー ざ や つ く さ ん く に の た め

A large image showing a handwritten manuscript of the school song. The text is written in Japanese calligraphy and includes the title '猿子小学校歌' and the lyrics. The manuscript is written on a grid of musical staves. At the bottom, it says '歌 石田元季 曲 小林禮' and '昭和2年度卒業アルノムより'.

※現在の名古屋市立広見小学校の校歌は、昭和22年(1947)歌詞の一部を改定したものです。

昭和2年度卒業アルノムより